

# 労働行政全般について滋賀労働局長へ要請行動を実施

連合滋賀は、3月9日(月) 滋賀労働局に対し、2015年度の労働行政に関する要請を行いました。

この要請は、2015春季生活闘争の一環として位置づけ、労働者福祉の向上に資する労働行政の推進に向けて、労働法令のさらなる厳格な適用と迅速かつ効率的な監督行政の実施などを要請するために実施しているもので、①緊密な連携、②雇用対策の強化、③労働時間行政、④安全衛生行政、⑤労働条件の確保、⑥最低賃金行政、⑦監督行政など労働局所管の労働行政全般にわたる要請を行いました。

冒頭、要請書を辻知之滋賀労働局長に提出した後、要請内容の主旨説明を行い、労働局から各要請項目に対する回答を得た後、若年者(高校・大学生)の職業意識の向上、非正規労働者への相談対応、家内工



賃の改正、安全衛生労使専門家会議の機能の充実、働き方改革推進本部の取り組みの強化などについて要請し、雇用の促進・ワークルールの確立に向けて、連合滋賀、経営者団体、県行政と連携を図りながら、取り組みを進めることを共通理解しました。

# 2015春季生活闘争・統一地方選挙必勝総決起集会アピール

2015春季生活闘争は、いよいよ最大の山場を迎えようとしている。

政府は、株価の上昇などを引き合いに出し、「アベノミクス」の効果を強調しているが、円安や株高などで潤っているのは一部の企業や富裕層に限られており、その恩恵は多くの働く者、国民には波及していない。むしろ国民の生活は改善されず、雇用の不安と低所得に苦む働く人々が増加している。また、労働者保護ルールに「岩盤規制」とレッテルを貼り、その改悪が検討されるなど、働く者を踏み台にした国づくりが進められようとしている。さらに、負担を分かち合いながら、持続可能な全世代支え型社会保障制度の確立をめざしてきた社会保障と税の一体改革も足踏み状態である。加えて、年金積立金を労使の意向を無視して必要以上のリスクで運用しようとしている。

このような中で迎える2015春季生活闘争は、「賃上げ」「時短」「政策・制度要求の実現」の取り組みを通じ、「デフレからの脱却」と「新しいサイクルでの経済の好循環実現」をはかる闘いである。デフレに終止符を打ち、日本経済を持続的な成長軌道に乗せることが

できるのか、あるいは、賃金水準が停滞し物価だけが上昇する悪いインフレに陥るのか、2015春季生活闘争は日本の将来を左右する分水嶺といっても過言ではない。すべての労働組合が月例賃金引き上げの要求を掲げ、回答の引き出しに全力を尽くすとともに、その成果を広く社会に波及させ、「底上げ・底支え」「格差是正」を成し遂げる必要がある。

正規・非正規にかかわらず働く者の声を要求に集約し、地道で真摯な交渉・協議を積み重ねることで、「働くことを軸とする安心社会」の実現や、日本経済の自律的・継続的な成長をはかっていく。

連合滋賀、構成組織、単組は、最後まで粘り強い交渉を展開し、賃上げで景気の底支えを実現し、「休み方」「働き方」改革による長時間労働の撲滅を実現する。また、4月に執行される統一地方選挙に向け、連合滋賀が推薦するすべての予定候補者の完全勝利のため、総がかりで闘い抜く。

2015年3月7日

2015春季生活闘争・統一地方選挙必勝総決起集会

か生きながら今日に至っております。

やはり持つべきものは、地位でも、名誉でも、お金でも無い。何よりも「仲間」が大切なのだと改めて感じています。

この「仲間」の輪を皆さんと一緒に更に広げる。そして、社会全体として大きなうねりを作り上げて連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、全力で取り組んでいきたいと考えています。

私事ですが、この2月に3人目の子どもを授かりました。まさに「24時間職えますか?」というような状況ですが、仕事も育児も今しかできない貴重な経験と捉え、何事も前向きに取り組むことを心掛けて頑張りたいと思います。

## 竹内真也 副事務局長 就任

昨年12月15日付で、連合滋賀副事務局長を仰せつかりましたU Aゼンセン(東レ労働組合)出身の竹内真也と申します。



これまで、単組の非専従役員しか経験したことが無いため、縦の繋がりも横の繋がりも全くと言っていいほど無いに等しく、就任当初は夜も眠れぬ日々が続いておりましたが、皆様の温かいご指導とご支援によって、何と



# 連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2015年3月13日  
連合滋賀 第256号  
大津市松本2丁目10-6  
電話077-523-0500  
発行・山田 清  
編集・上田 薫  
(定価 1部6円)  
印刷 ユメディア株式会社

# 賃上げで景気の底支えを! 「休み方」「働き方」改革で長時間労働撲滅!

## 2015春季生活闘争・統一地方選挙必勝総決起集会

連合滋賀は、3月7日(土) 草津市野村運動公園において、連合滋賀2015春季生活闘争・統一地方選挙必勝総決起集会を開催しました。当日は、構成組織・単組・支部から約5,000名の連合滋賀の仲間が参加しました。

冒頭、主催者を代表して連合滋賀山田会長は、「2015春季生活闘争で重点的に取り組む課題として、『賃上げ』『時短』『政策・制度実現』を3本柱と位置づけ、企業規模・男女間格差を是正し、デフレ経済を脱却するため、2%以上の賃上げを勝ち取り、労働者保護ルール改悪阻止に向け取り組む。連合がめざす「働くことを軸とした安心社会」を実現するためには、勤労者の声が反映できる政治を地域から作り上げていくことが重要であり、そのためにも統一地方選挙において、連合が推薦する予定候補者全員を勝利させなければならない。

厳しい状況ではあるが、春季生活闘争、統一地方選挙の勝利をめざし総力で闘い抜こう」と、今春季生活闘争と統一地方選挙での奮闘を訴えました。

主催者挨拶の後、林久美子民主党県連代表、小坂淑子社民党県連代表から激励の挨拶を受けた後、U Aゼンセンを代表して中島徹支部長、J A Mからは、廣瀬バルブ工業労組安居和幸執行委員長、中小労組連絡会議の塚本智史事務局長、非正規労働者の立場から川添まゆみ県教組臨時採用教職員部長が情勢報告と決意表明を行いました。

また、連合滋賀が推薦した統一地方選挙予定候補者



左から、情勢報告・決意表明する中島さん(U Aゼンセン)、安居さん(J A M)、塚本さん(中小労組)、川添さん(日教組)

(県議会14人、各市議会14人)が登壇し、候補者を紹介、各選挙区で闘うアピールを行い、統一地方選挙勝利に向け、川端達夫・田島一成衆議院議員から連帯の挨拶を受けました。

塩澤良之連合滋賀青年委員会委員長が「集会アピール」の提案を行い、参加者全員の拍手で採択しました。

3.8国際女性デーのアピール行動として、連合滋賀女性委員会・青年委員会は、集会参加者と一体となって、昨年流行語大賞になった「いいじゃないの〜・ダメヨ〜ダメダメ〜」のフレーズにあわせ、「マタニティハラメント」「長時間労働」「男女間賃金格差」の課題について訴えました。

集会の最後は、山田会長のガンバローで締めくくり、参加者全員でJR草津駅までを2コースに分かれて、シュプレヒコールをしながら、市民にアピールし、連合の要求と運動への理解を訴えました。



# 第18回統一地方選挙 県議会議員 連合滋賀推薦予定候補者

## 大津市

## 彦根市・犬上郡

## 近江八幡市・竜王町

## 長浜市

## 米原市

## 草津市



しばた  
**柴田 ちえみ**  
UAゼンセン

「やさしさ」と「思いやり」の心をもって行動し、仲間の皆さんが安心して働くことができるよう地域の安全・安心や次代を担う子どもたちの学びを育ちを支え、年を重ねても住み続けたい、住んでいて良かったと実感できる元気な滋賀づくりに頑張っています。



なりた  
**成田 セリユウ**  
組織外

子どもたちにやさしい社会はすべての人にやさしい社会です。子どもたちを育ててやさしい環境を作り、子どもから高齢者までが歴史と自然あふれる地域で交流し、笑顔と元気で暮らすことを目指します。また子どもたちが未来に夢を描ける産業や雇用を創出し、子どもたちの豊かな発想も取り入れながら、明るい未来をつくれます。



やはちろう  
**えばた 弥八郎**  
全印刷

絆と共感を大切に!安心・安全な町づくりを! 市政・県政・国政と連携し、おせっかいな議員として一生懸命働きます!  
びわ湖と共に生きる滋賀をめざして頑張ります!  
・三日月県政を支え、草の根自治をさらに推進します。  
・連合議員団として、働く仲間の立場で政策を推進します。  
・政治の原点である地方の声を国政に届けます。



なかざわ  
**中沢 けいこ**  
組織外

元気な滋賀!ともに生きる滋賀に!  
いつもありがとうございます。人口減少・超少子高齢社会を迎えますが、この自然豊かな滋賀で、いきいき働き、安心して暮らせる滋賀をめざして、皆さんと一緒に取り組んでまいります。大好きな滋賀で、皆さんの笑顔と滋賀の元気のために頑張ります!よろしくお祈りいたします!



いまえ  
**今江 まさひこ**  
自治労

戦後70年という我が国にとって大きな節目となる年を迎えて、あらためて平和の大切さを認識するとともに、経済や利便性だけを優先するのではなく、滋賀から「新しい豊かさ」を創り出して全国に発信していきます。  
そして、格差を拡大するアベノミクスと断固対決し、すべての人に居場所と出番のある共生社会を実現します。



おおはし  
**大橋 みちのぶ**  
日教組

夢あるあしたへ! もっと湖北、ずっと滋賀。  
人の心を見つめ続け、「理」もある「情」もある県政をつくりたい。  
誰もが「自分が役に立っている」と実感できる社会をめざします。  
くりかえしません「戦争と原発事故」、人間のおごりとたかいます。



すみだ こうや  
**角田 航也**  
組織外

まじめに生きる人が報われ、弱い立場の人にも光があたる社会を実現したい、という思いから政治の道を志すに至りました。  
「つなごう滋賀と、活かそう米原を。」をスローガンに掲げ、米原の良さを活かし、米原を若者が定住し、にぎわいのある地域にすることで、滋賀県全体のバランスのとれた発展に繋げていきたいと思っています。



やまもと ただし  
**山本 正**  
組織外

戦後70年を迎える私達が向き合うのは、人口減少と高齢化、格差拡大、気候変動等です。前例のない社会の到来だからこそ、未来を見通す構想力が試されます。  
二期目に挑戦するにあたり、「平和の堅持」、「未来への責任」、「安心を支え合う社会」、「社会的弱者の立場」等の理念を再確認し、県民が誇れる「魅力ある故郷しが」を目指します。

## 栗東市

## 守山市

## 東近江市・日野町・愛荘町

## 甲賀市

## 湖南市



まなぶ  
**くのり 学**  
組織外

クリーン・クリア・オープン! 『県政ガラス張り宣言』をモットーに、清潔で身近なひらかれた滋賀県政のために地道にひたむきに、働く仲間の皆さん、生活者、消費者、納税者の方々の視点と立場、県民主軸の初心忘れず、これからも現場を歩き地域の課題や県政刷新のために取り組み続けます。



しもむら  
**下村 いさお**  
日教組

教員時代に労働組合に入り、働く仲間と団結しながら困難な課題に立ち向かった日々。守山市議会議員として2期8年、弱い立場におかれた人たちの状況を議会での力で改善してきたこと。  
そんな経験を糧に県議会の場へとステージを変えて挑みます。「教育に愛!まちに福祉!地域に平和!みんなに元気!」をスローガンに頑張ります。ご支援、よろしくお祈りいたします。



さかぐち  
**坂口 あきのり**  
組織外

私たち「子育て世代」は、子育てに苦勞をし、仕事に苦勞をし、生活に苦勞をし、介護に苦勞をしています。  
救えきれない苦勞に直面している私たちの声を県政に届け、安心して子育てができ、安心して仕事ができ、安心して生活ができる滋賀県を作るため、皆さまのご支援を何卒よろしくお祈りいたします。



なおし  
**いさか 尚司**  
組織外

「夢をカタチに 確かな一歩」「心をついに ひと・まち・くらし」をスローガンに、決意新たに県議選挙に挑戦します。  
三日月県政を支え、教育30年の実績、NPO活動20年のノウハウ、調査研究10年の成果を活かして着実に地域づくりを進めます。県内最激戦区です。何卒、皆様のお力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



たなか まつたろう  
**田中 松太郎**  
組織外

当たり前の話ですが、市民が求める政治は政治家のための政治ではなく、市民のための政治です。市民の声がかかりと反映される政治を実現することが、全ての市民の幸せな暮らしの実現につながってまいります。  
子育て世代、二児の父、働き盛りの42歳。まじめにごつつと市民のための政治の実現をめざし頑張ります。



つかもと  
**塚本 しげき**  
組織外

孫子の未来に希望を埋め込むためにも、地域独自の発想によるまちづくりが求められています。  
地域に生きる人々や地域の様々な営みを守り、先人から引き継がれた歴史や文化、自然の恵みを守り、活力と安全安心を築きながら、誰もが心豊かに暮らすことができる、住み心地日本一が実感できる滋賀をつくってまいります。

## 私たち働く者の声を届かせよう!

連合滋賀は、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、県政をはじめ地方自治体行政への政策や意見反映を目的に、地域の政治活動に積極的に取り組みを進めます。

## 4月3日(金)告示 4月12日(日)投票日